

いしずえ

2024 4・5・6 月号
〈 合 併 号 〉

第646号 2024・6・30 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南2-33-32 TEL 03-3314-5688 FAX 03-3314-8954

ご聖体のイエス様と共に

主任司祭 高木 健次

「あなたは天使のパンで民を養われ、神が用意された天のパンを、民は労苦することなく手に入れた。

それはこの上もなく美味で、だれの口にも合った。

この食べ物の子らへのあなたの優しさを表し、それを食べる人の好みに応じて、望みの味に変わった。」(知恵の書16・20〜21)

私の好きな聖書の箇所です。知恵の書では荒野で神様がイスラエルの民を養われた天からのパン、マンナをこのように思い起こしています。しかしイエス様はご自分こそが天から降つて来た生きたパンである、とおっしゃいました(ヨハネ6・51)ので、私たちカトリック信者は、この知恵の書のことばを、イエス様の現存であるご聖体を語ることばとして受け取ることができます。イエス様はご聖体として私たちの中においでになり、私たちの望みの味に変わり、神様の優しさを味合わせてくださるわけです。もちろん、味覚としてのご聖体の味が変わるわけではなく、ご聖体としておいでになるイエス様

が、私たち一人ひとりが必要なとして、恵みを下さるという意味です。ただし、恵みとは苦勞を取り除くことでもわたしたちが担うべき人生の課題を肩代わりしてくれることでもありません。福音書を読めばイエス様は、「清くなれ」「起きなさい」「手を伸ばしなさい」「目をあけなさい」とイエス様に救いを求める人自身を変え、力を与えられます。恵みとは、そんなイエス様がいつも共にいて下さることをわたしたちが実感し、関係を深めていくことそのものであると言えるでしょう。

今年のキリストの聖体の祭日には高円寺教会で5人の子供たちが初聖体を受けました。この子供たちをはじめ、今年世界中で初聖体を受けた人たちにとつて、この機会が単なる人間的なコミュニケーション内の行事ではなく、神である方イエス様との関係へと導いてくれるものでありますように。そしてすでに数え切れないほどにご聖体を拝領している私たちも、一人ひとりに一番あつた形で共にいようとされるイエス様との関係を深めることができますように。